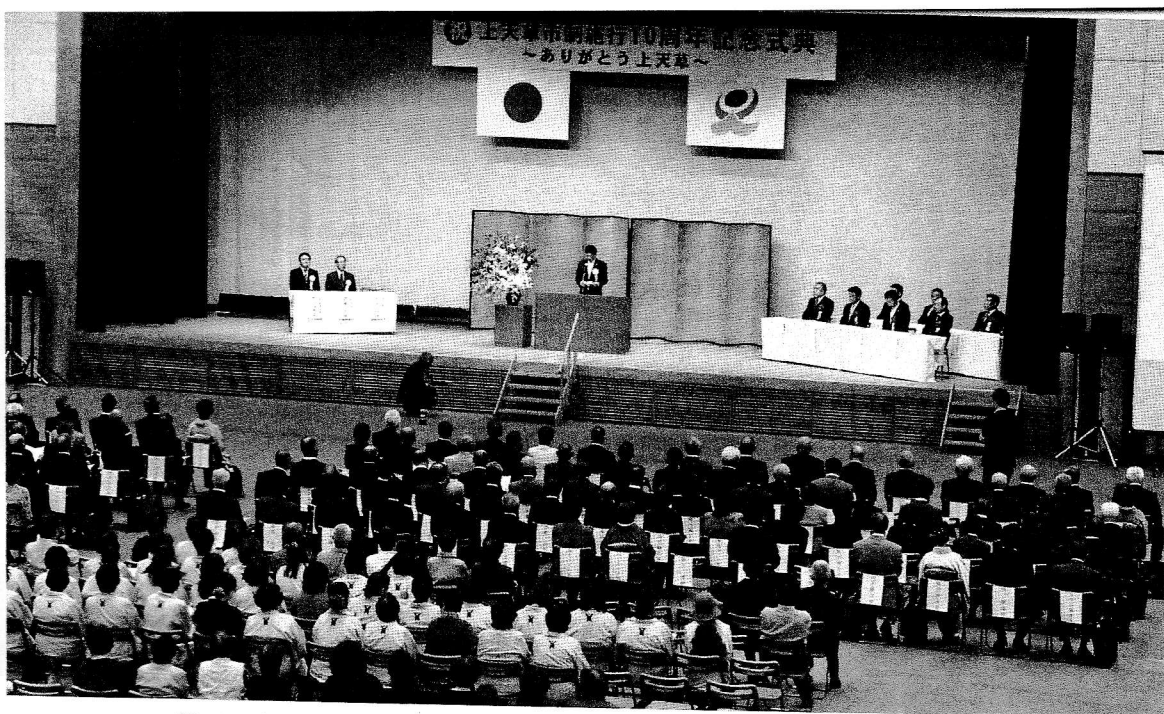


# 上天草市制施行

## 10周年記念式典

### 「ありがとう上天草」



#### 市長式辞

本日ここに、上天草市制施行10周年記念式典を挙行するにあたり、上天草市内外から多くの皆さまにご列席を賜りまして衷心より感謝申し上げます。

上天草市は、平成16年3月31日の市制施行以来、本年をもって10周年を迎えました。

これまでの上天草市の歴史や文化を踏まえ、かかわった全ての皆さまに感謝するとともに、上天草市の未来への飛躍を祈念して、10月26日、大矢野総合体育館で、多くの来賓や一般観覧者をお迎えし、記念式典を開催しました。

また、ご来賓として、地元選出の園田先生をはじめ国会議員の先生方、村田副知事ほか県議会議員の先生方、そして、県内の市町村長ならびに市議会、町村議会議員の皆さまには、公私ご多用の折、ご臨席を賜り、この式典に華を添えていただきまして、衷心よりお礼を申し上げます。

ご列席の皆さまと共に、市制施行10周年をお祝いできますことは、この上ない喜びであり、また、今日に至るまで、上天草市の発展に対し各方面から多大なるお力添えを賜りました。ここに、あらためて深甚なる感謝を表する次第でございます。

ご承知のように、上天草市は平成16年3月31日に、旧大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町の四町が合併し、新しい市としての産声をあげました。合併当日は、晴れ晴れとした晴天でありましたが、冬

のような冷たい風が吹き荒れる肌寒い日でありました。

自治体の合併は、まさしく天下の難事業であり、当時の町長はじめ町議会の皆さまはもとより、熊本県ならびに合併に携わる関係各位のご苦勞はいかばかりであったかと、そのご尽力に対しまして、あらためて敬意と感謝を申し上げます。今日までの上天草市の歩みを振り返ってみますと、合併

当時は、地方分権が進展する中、予期せぬ国の三位一体改革が推進され、地方交付税が大幅に削減されるなど、財政的に極めて厳しい局面に立たされました。

市は、その存続をかけて、待ったなしの行財政改革にまい進せざるを得ず、合併に伴う諸問題の解決を図りながら、聖域なき改革を強力に押し進めてきたところです。

職員数の削減はもとより、時には市民の皆さまにも痛みを伴うような経費の節減および合理化に取り組んできたことによりまして、合併当初18・9%まで上昇した実質公債費比率は、現在13・0%にまで抑え、職員数は456人から現在317人まで30%削減し、財政調整基金は最悪時

の4億円から22億円にまで増加することができました。財政の健全化については適正値まで改善し、また行政改革を通じ自治体としての基礎体力を整えることができたものと認識しております。振り返れば、合併とは、文字通り、行政の大リストラでありました。

一方、行財政改革による市民の皆さまの動揺を抑えつつ、風土、風習が微妙に異なる四町の融和と調和を見出すことは、一朝一夕でなし得るような、容易なことではありませんでした。

しかし、地域の祭りやイベント、スポーツ大会などを通じ市民がふれあうことで、乾いた大地に水がしみ入るがごとく、徐々に市民の融和は図られました。

合併の最大の懸案であった、松島新庁舎についても昨年、関係各位のご協力のもと



# 「ありがとう上天草」

木造3階建ての立派な庁舎として完成いたしました。松島新庁舎こそ、旧四町の合併により誕生した上天草市にとって、旧町意識を発展的に越え、市民の融和と調和を目指す、まさに「和」のシンボルであり、今後、市民一丸となって気品漂う上天草市を形づくる一助となるものと期待してやみません。

さて、現在、国においては、地方の人口減少問題が国家の重要課題であるとの認識から、「地方創生」を主題とする「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、「人口減少・過疎化」という課題に真正面から取り組む体制が構築されました。

本市においても、人口減少社会に対応し、止めどなく進行する過疎化を食い止めるべく昨年、第二次総合計画が実行段階に入りました。

地元経済の活性化が急務であり、雇用の確保、そして所得の安定を達成するとの認識から、本市の豊富な農林水産物と美しい景観を戦略物資として、「6次産業化の推進」

と「観光の振興」を最重点戦略に位置付けました。

奇しくも、平成23年3月には九州新幹線の全線開業、同年10月には特急「A列車で行こう」の運行開始など、本市の観光振興に追い風が吹き、その追い風を契機ととらえ、現在では、オジリーワン、ナンバーワン戦略に基づいたさまざまな施策を展開しているところでは、水上セスナ、山ガールサミット、九州オルレ、海風マルシェ、海音コンサートなどはその最たるものです。

特に、九州観光推進機構が事業展開をなされている「九州オルレ」の維和島コースの



認定に当たりましては、維和地区の皆さまの遊歩道整備やウォークラリーの実施などによるものであり、本日ご臨席の大韓民国ヤンピョン郡守の来市にも繋がっているものと認識しているところです。

今年度からは、新たに天草五橋の中心にある前島地区を舞台に、官民一体となって観光拠点としての整備をすすめています。

少しずつではありますが、未来への投資も可能な状況となりました。これらのことは、本市が今後持続可能で飛躍していく自治体になるための、一つの光明を見出すものと認識しているところです。

本市では、これからも、地域資源を発掘し、磨きあげ、地域の特性を生かした自律的・持続的な社会を創出し、子どもたちが郷土に誇りを持ち、そして将来にわたり心豊かに住み続けることのできる自治体を目指していく所存であります。

そのためには、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆さまのさらなるお力添えと、市と市議会、そして何より市民一丸となった調和ある力強い歩

みが必要不可欠であります。今後、ますますのご理解とご協力をお願いする次第でございます。

さて、本日の式典では、表彰式を執り行いますが、上天草市の草創期における市政発展に対し、顕著な功績のあった皆さまの表彰をさせていただきます。

受賞される皆さまのご功績を称えますとともに、受賞者の皆さまには、今後も健康に十分ご留意いただき、本市の更なる発展のため、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本日ご臨席をいただきました皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今後とも市政発展に変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

上天草市の草創期10年を振り返りながら、光明さす荘厳な暁のもと、未永永劫さらに飛躍し発展する上天草市を心から祈念し、私の式辞といたします。

平成26年10月26日

上天草市長 川端祐樹







# 上天草

Kamiamakusa



## 「上天草市民の歌披露」

市制施行10周年記念式典

### 目次

- 日本ジオパークに認定されました…………… P 2
- 生涯学習・図書館だより…………… P 12
- 子ども・子育て支援新制度がスタートします…… P 4
- ウェルカム市長室…………… P 16
- まちのわだい…………… P 6
- 市制施行10周年記念式典…………… P 17
- 健康ガイド…………… P 8
- お知らせ…………… P 24
- 市立病院だより…………… P 10



## 上天草市民の歌 ～ありがとう上天草～

(1番)

ありがとう ここで生まれて 育って ほんたによかった よかった

藍色の海と空が溶け合い 緑萌える大地

穏やかな潮風に吹かれて 行き交う人に微笑かえす

パールライン パールライン 五つの橋 心繋ぐ

夢見る 上天草 海のまち

(2番)

ありがとう ここで泣いて 笑って ほんたによかった よかった

大切な仲間と育んだね ふるさとの絆よ

遙か昔の歴史と文化が 僕たちを支え 強くしたね

パールライン パールライン 夕陽光る 眩しい波

夢見る 君と未来 繋いでこう

(サビ)

パールライン パールライン 五つの橋 希望運ぶ

夢見る 上天草 ありがとう